

7月のどきどき



和やかな中での追高祭

「祭魂」をテーマに第54回追高祭が7月15日と16日に催されました。

初日は、クラスごとの合唱発表。コンサートでは、追高OBの太鼓演奏や小学校の先生の声楽が披露されました。

2日目は校舎前で生徒やPTAの皆さんが出店。好天に恵まれ、冷たい飲み物やかき氷が小中学生の子どもたちに人気でした。

日暮れ近くに、校舎駐車場を出発した行灯は町道や道道を巡回し、夜の街中を明るく照らす浮世絵の絵柄は沿道の観衆の目を楽しませていました。

フィナーレの打ち上げ花火では、大輪が夜空に開くたびに聞こえてくる「わあ、きれい」との歓声。学校祭は和やかな中で行われた2日間のイベントとなりました。



地域の福祉に役立ててください

陸上自衛隊安平駐屯地と早来分屯地の隊員の皆さんが、第25回おいわけメロンまつりに参加し、交通整理や会場設営・撤去作業に協力しました。

7月29日には手作りのプランターのチャリティバザー店を開き、地域の人たちとの親睦交流を深め、31日にその売上げの全額を町社会福祉協議会に寄付。「私たちは、日ごろから地域に開かれた活力あふれる駐屯地を目指しています。町の社会福祉に役立てほしいです」との申し出に対し、畠山会長は、心温まる善意に感謝の気持ちを表わしていました。



自分の素直な気持ちを発表

7月10日に室蘭市文化センターで平成18年度少年の主張胆振支庁地区大会が開催されました。管内で13名が参加し、安平町からは、追分中学校3年生の箱崎可奈子さんと早来中学校2年生の高田知里さんが出場。箱崎さんが最優秀賞を受賞し、北海道大会の胆振代表に決まりました。

賞を受賞し、北海道大会の胆振代表に決まりました。

幼稚園の先生を目標としている箱崎さんが選んだテーマは、「児童虐待について」でした。「虐待問題に関する本を読んでもとてもショックを受けました」と話し、「自分の素直な気持ちを発表しました。全道大会まで、もっと話し方を勉強していきたい」と抱負を語ってくれました。全道大会は、9月13日に札幌市で行われます。

道銀追分支店で作品展を開催中

地域に根ざした銀行として安平町でも町のイベントに参加協力している北海道銀行が今年創立55周年を迎えました。これを記念して各支店では、さまざまな取り組みを行っています。追分支店では、追分幼稚園児の作品展を開催中。「夏休み中に、子どもたちの力作をぜひ見に来てください」と行員の皆さんが呼びかけています。展示期間は今月18日までです。

